

「家庭学習のすすめ」

- ・ 学校週5日制。土・日休み。授業内容3割削減。
- ・ 家庭や地域で学ぶことの大切さが、ますます重要になってきています。
- ・ つまり、下校後の過ごし方や休日の過ごし方が学習の定着に大きく影響します。

1 時間後に50%、
1 日後に60%、
2 日後に70%…
さて、これは何でしょう…？



実はこれ、ある研究者が習ったことをどれだけ忘れてしまうかを調べたものです。つまり、人は1時間後に覚えたことの半分を忘れてしまうということです。できるだけ早くおさらいをすることが、いかに大切かがわかります。

学校で学んだことを確実に身につけるには、家庭学習の習慣が不可欠です。
子どもたちが、学ぶ習慣を身につけ意欲的に学習するにはどうしたらいいのでしょうか。



学習習慣を身につけ、学習意欲を高めることをねらい、「家庭学習7か条」が設けられています。

★「確かに学ぶ」南河中生になろう！

「家庭学習7か条」

1 原則、毎日、家庭学習をする。

平日、1・2年生は1時間以上、3年生は2時間以上。

休日、1・2年生は2時間以上、3年生は3時間以上。

2 決めた時間に机に向かい、集中してやる。

だらだらやるのは時間の無駄。集中して能率よく学ぶことです。

テレビを見ながら、お菓子を食べながら、も注意が散漫になります。

3 授業の復習と宿題はその日のうちにやる。

どうして？ 前掲参照。

4 数学・英語は毎日やる。

数学の計算や英語の単語学習は、繰り返し練習し十分に慣れ親しむこと。

1日、20～30分で十分。ただし毎日。やれば学力向上間違いなし。

5 自主学習ノートを毎日提出する。

毎朝、担任の先生に、自主学習ノートを提出することになっています。

もう、何冊たまりましたか。着実な学習が確実な学力となります。

6 わからないことは、先生・学習相談箱を活用する。

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言われますが、こと学習に関しては、

「聞くは一時の知恵、聞かぬは一生の無知」

先生は生徒の学習を支えるのが生きがい。

学習相談箱も生徒の皆さんの疑問・質問を待っている！

7 家庭学習を習慣とし、学ぶことを好きになる。

今や生涯学習の時代。「好きこそものの上手なれ」

子どももおとなも学習を生活の一こまにし、真に豊かな人生を・・・